

安全・安心な生活のために

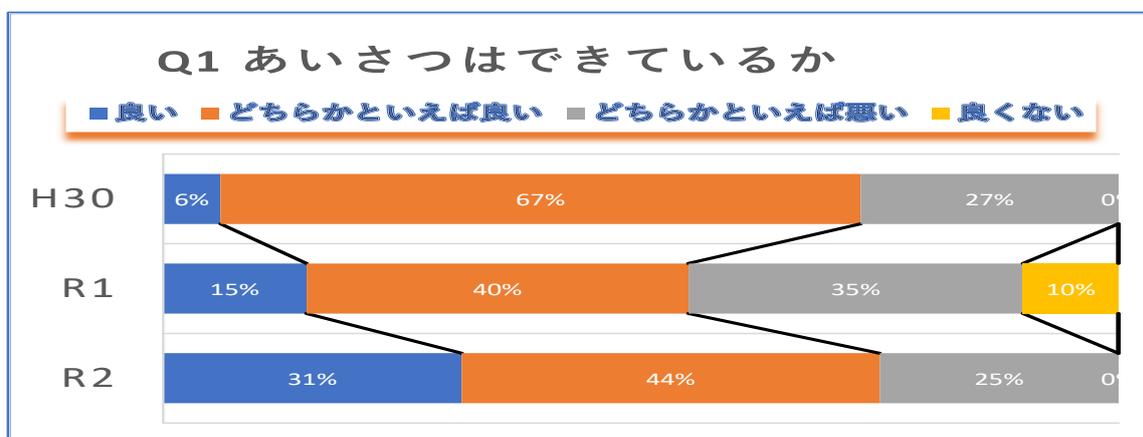
見守り隊の皆さんのアンケートから

子どもたちの登下校の際に見守り活動をしてくださっている地域安全ボランティア（見守り隊・お散歩隊）の皆さんに、12月末アンケートをお願いし、その結果をまとめました。昨年度との比較も行いましたが、課題が多くあります。子どもたちの安全意識を高め、きまりを守って登下校できるよう、学校・家庭・地域で連携して指導していかなければならないと思います。ご協力をお願いします。

※各質問について「良い」「どちらかといえば良い」「どちらかといえば悪い」「良くない」の4段階で回答していただきました。

1 児童の様子についてお聞かせください。

① ボランティアの方に「あいさつ」はできていますか



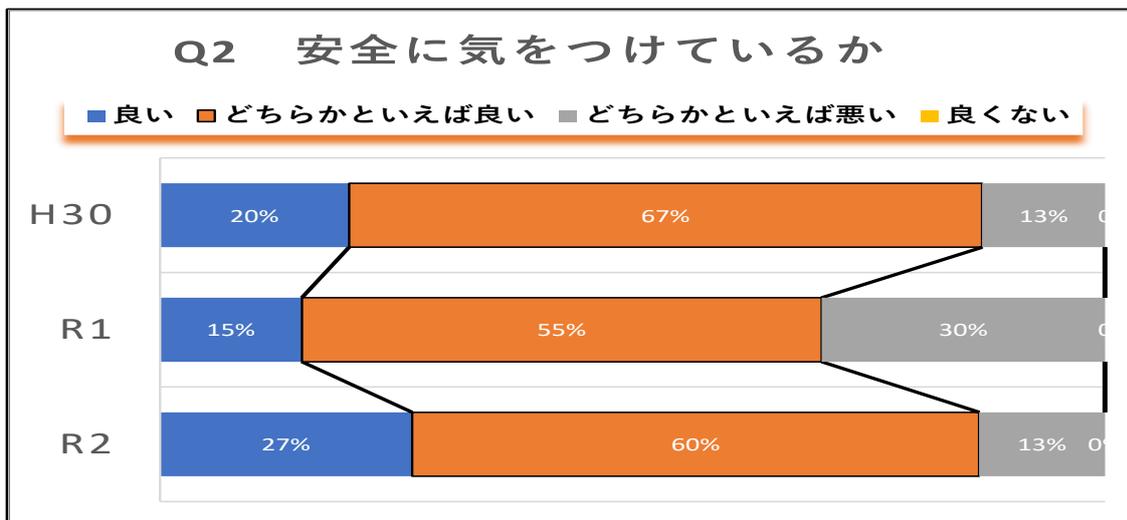
肯定率 「良い」「どちらかといえば良い」を合わせた割合 75% (R1 55%)

「あいさつ」についての肯定率は75%という評価でした。昨年より20%増となりました。日ごろより、見守り隊の皆様へ、あいさつや声かけをしていただいているおかげです。

「明るくあいさつをする」は、本校の具体目標の第一に掲げ、児童会活動でも朝のあいさつ運動等、あいさつが響き合う屋代小学校を目指して取り組んでいます。しかし、アンケートのコメントにも「おはようございます」のあいさつができない子どももいます。あいさつが自分から進んで気持ちよくできる子となかなかできない子の差があることは事実です。あいさつの意味やあいさつを交わし合うことの良さについて考えたり感じたり、また素晴らしい姿を褒めたり紹介したりすることを通して、全校の子どもたちがあいさつへの意識を高められればと思います。また、見守り隊の方に声を掛けられてからあいさつをするのではなく、自分から進んでできるような子どもたちの姿も目指していきたいです。いつも温かく見守ってくださる地域の方々に感謝の気持ちを表せるよう、学校としても力を入れて指導していきます。

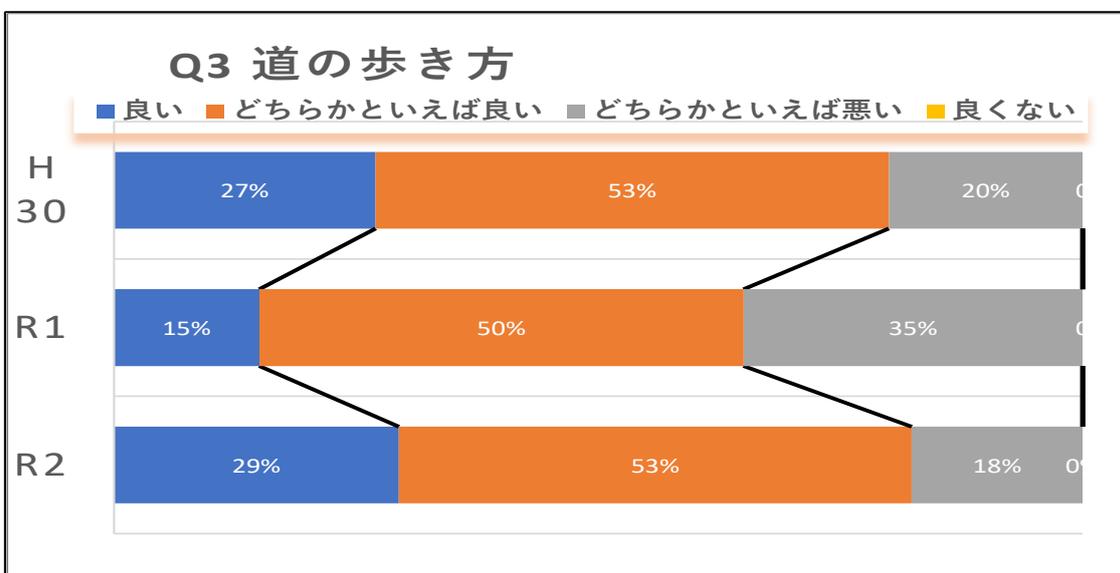


②交通安全を含めて、「安全」に気をつけているようですか



肯定率 「良い」「どちらかといえば良い」を合わせた割合 87% (R1 70%)

③「道の歩き方」についてどうお感じですか



肯定率 「良い」「どちらかといえば良い」を合わせた割合 82% (R1 65%)

大体の子どもたちは登下校時の安全や道路の歩き方について気を付けている様子が見えましました。「下校時、遊びながら歩く姿が見られなくなった。」とのご意見があり、こちら、日頃より見守り隊の皆様、声を掛けていただいたり、時には注意をしていただいたりしているおかげであると感じます。

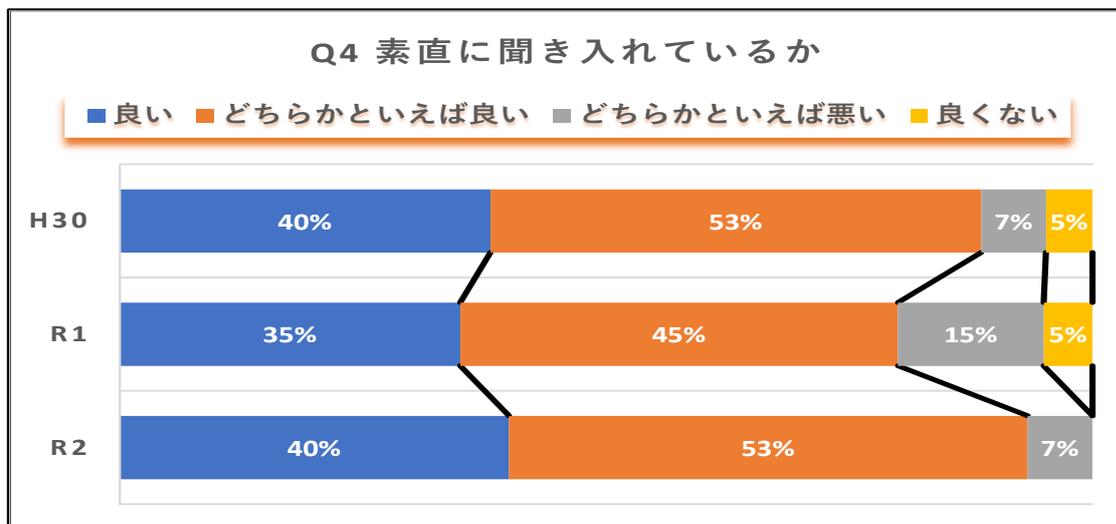
しかし「手袋をせずにポケットに手を入れている子どもを見受ける」「歩道一杯に通行する」「雪で遊ぶ子が多い」等、注意散漫な様子や危険な歩行の様子についてのご指摘いただきました。このご指摘を十分に受け止め、学校でも引き続き、職員が定期的に街頭指導に立ったり下校時に付き添ったりして、安全に登下校できるように指導していきます。また子どもたちにも、自分の目で見、自らの判断で行動し、安全に登校することができるよう繰り返し指導しています。たった一度の不注意が取り返しのつかないことにつながらないように、「自分の命は自分で守る」ことも繰り返し指

裏面へ



導していきます。これからも子どもたちが安全に登下校できるよう、家庭や地域の皆さんにご協力いただきながら取り組んでいきたいと考えています。

④ 注意を受けたことを、子どもたちは素直に受け入れているとお感じですか



肯定率 「良い」「どちらかといえば良い」を合わせた割合93% (R1 90%)

肯定率が93%であり、ほとんどの子が、注意を素直に受け止めている様子であり、安心しました。毎日、見守っていただき、見守り隊の方と心のつながりも持てている子どもたちの姿が感じられます。また、一人一人、その子に応じた注意をしていただいていることにも感謝いたします。

◆他にも大切なご意見をいただきました！

○この頃は下校時に遊びながら歩くというような姿は見られなくなりました。安全への意識が高まってきたように思います。

★自分から気持ちの良い「あいさつ」を心がけて欲しい。

★手袋をせずにポケットに手を入れている子どもを見受ける。歩道一杯に通行する、少人数のリーダーが黄旗を持たなかったり、巻いていたりする子がいる。

子ども達を温かく見守ってくださっている地域安全ボランティアの皆様方のご協力に感謝し、子どもたちの交通安全に対する意識を高め、きまりを守って登下校できるよう、学校・家庭・地域で連携しての指導を引き続きよろしく願いいたします。

6年生が、災害募金を届けに、市役所を訪問をしました。

1月27日(水)、台風災害の支援活動として、6年生が2学期に収穫・販売したジャガイモの収益金(24,500円)に千曲市の小川修一市長に届けてきました。屋代小出身である市長に母校の活動をたくさん称えていただきました。また、販売の際にマスコットキャラクターとして活躍した「じゃがじい」(牛越成美さん作)を市長のご厚意で、市長室に飾ってもらえることになりました。市長室には、あるクマ、あん姫の隣に「じゃがじい」が並んでいます。

